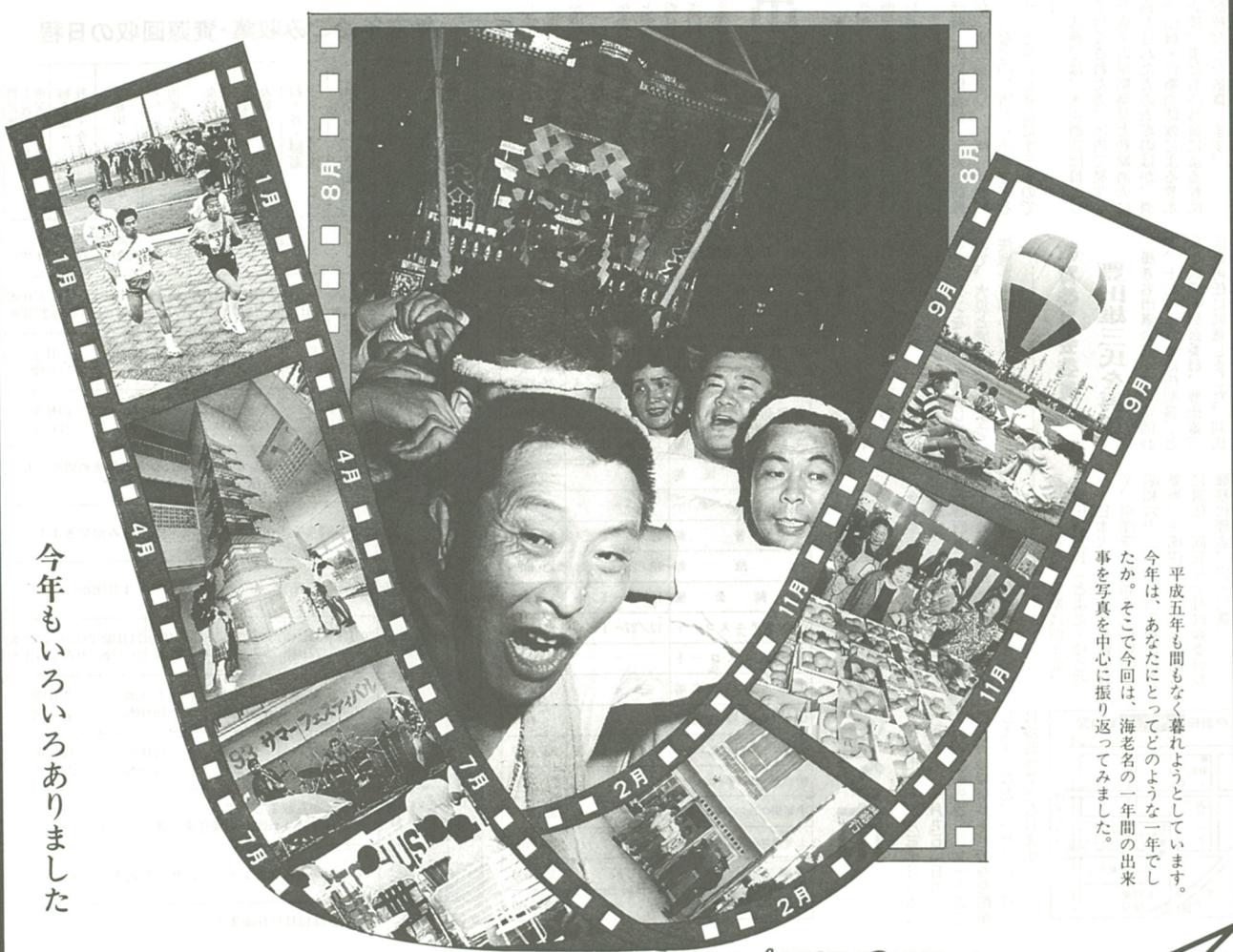




広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

写真で見るこの1年

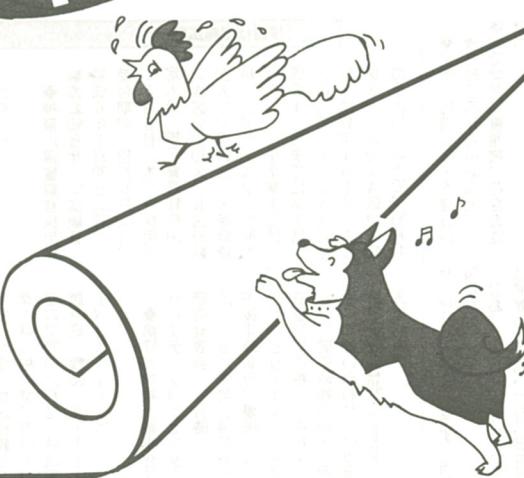


今年もいろいろありました

- 一月——新春恒例の駅伝競走大会、出初式、ジャンボかるた大会を開催。成人式には新成人千四百五十六人が参加。
- 二月——市民待望の派出所が、海老名駅前に完成。
- 三月——増水期に通行止めになることが多かった相模川の相模小橋(通称もぐり橋)の架け替え工事を開始、平成7年度末完成予定。
- 四月——七重の塔のレリーフが施された国分コミュニティセンターが完成。公民館まつり緑化まつりを開催。
- 五月——東柏ヶ谷など十五区域を新たに公共下水道の供用区域に。
- 六月——生ごみ処理容器を設置する家庭に購入費の支度。
- 七月——青年の祭典を開催。名譽市民、故掘木助氏の合同葬や、衆議院議員選挙が行われました。
- 八月——真夏の祭典・ふるさとまつりに十万人が来場。
- 九月——秋空の下、運動公園フェスティバル開催。
- 十月——あきばは作業所が完成。温故館特別展「衣の暮らし」を開催。
- 十一月——市民文化祭が行われ、産業まつりでは、低公害車モルタル都市フェアを同時に開催。
- 十二月——冬の風物詩、海老名駅周辺の樹木に、イルミネーションが点灯されました。

'93の出来事

来年もワクダフルな年に…



急患のときは…



医師会の協力を得て
次の救急医療を行って
います。

☆休日の屋間

▶内科・小児科 ▶場所=休日急诊診療所(さつき町41、市健康センター内、☎31-1912)
▷受付時間=日曜・祝日の午前9時~11時半、午後2時~4時半

▶歯科 ▶場所=休日歯科診療室(さつき町41、市健康センター内、☎31-1939)▷受付時間=日曜・祝日の午前9時~11時半、午後2時~4時半

*保険証、診察料を忘れずに。耳鼻咽喉科は市外の休日急诊診療所を紹介します。

☆夜間 ☎32-0108
☎32-0119

テレホンサービスで医療機関を紹介します。
または市役所 ☎31-2111

急病でない限り平日の昼間に

1月の健康案内



理解と思いやり心掛けて

ボケ症状が表れたら一度診断を

高齢化社会と呼ばれる昨今、「近づく、うちのおじいさんがボケたのでぼー」とか、「おばさんがボケて外出したがつ困境ります」という話をよく聞きます。「ボケ」とは、一度獲得した知識的機能(記憶、認識、推理、判断、学習など)が低下して、一人で日常生活を営むのがおぼつかなくなったり、自分の周囲の状況に適切な対応がそれとなってしまっている状態をいいます。

①もの忘れがひどくなる(記憶障害)②自分の居場所がわらなくなる(自己認識障害)③寝たきりがなくなる(夜間せん妄)④排泄が自覚できない(失禁)。以上のボケの原因は、進行を防ぎ改善をもたらすため医学的に一次要因と二次要因の

二つに分けることができます。

第一次要因とは、脳そのものの老化や病気を指し、脳細胞が老化するアルツハイマー型老年痴呆症と、脳の血管がつまり(脳梗塞)、出血(脳出血)によるもので、生きるボケのことであります。第二次要因は、寝たきりや過度の心労、不安などの心身の状況や家族の状況や家庭の環境の変化から生じるボケです。

ボケの症状が表されたら、治療を受けた方が大切です。脳梗塞を防ぐことが大切です。脳梗塞の早期発見には、早い時期に適切な治療が行われれば、症状がすっと軽くなりります。また、ボケの進行を防ぎ改善をもたらすため寝たきりにしないで、十分な運動や読書や手紙を書くことで知的能力をみたり、何か興味をもつなどして、いきいきとした生活を送ることが大切です。

ボケは完全に治る病気ではありませんが、介護する家族が、やる心のゆとりをもつことが必要です。そのためにもボケに困っている人へ、一人で悩まず、困っている人に相談して二人で悩ます。

社会教育指導員が児童館などをまわって、手づくりおもちゃの作り方や子供に合わせやすいいろいろな指導をしています。

1月の内容は「今年のえと作り」「私のミニカレンダー」「お正月の楽しい遊び etc」おにぎり等で、毎日開催されています。

それぞの児童館などの巡回

社会教育指導員が児童館などをまわって、手づくりおもちゃの作り方や子供に合わせやすいいろいろな指導をしています。

1月の内容は「今年のえと作

り」「私のミニカレンダー」「お正月の楽しい遊び etc」おに

ぎり等で、毎日開催されています。

それぞの児童館などの巡回

社会教育指導員が児童館などをまわって、手づくりおもちゃの作り方や子供に合わせやすいいろいろな指導をしています。

</

